

野村万作 野村萬齋 狂言公演 2023

公演情報詳細



解説 野村 萬齋

素囃子 神舞

笛 竹市 学

小鼓 後藤嘉津幸

大鼓 河村眞之介

太鼓 前川 光範

末広かり

果報者 野村 万作

太郎冠者 飯田 豪

すっぱ 石田 幸雄

休憩十五分

月見座頭

座頭 野村 萬齋

上京の男 野村 太郎

休憩十分

越後髻 祝言之式

髻 野村 裕基

地謡 野村 萬齋

野村 太郎

飯田 豪

岡 聡史

● 末広かり

すえひろがり

果報者が来客に末広かり(扇)を贈ろうと、太郎冠者に命じて都へ買いに行かせる。ところが末広かりが何のことも知らない太郎冠者。声を掛けてきた男の巧みな言葉に、古傘を末広かりと信じ込んでしまう。大喜びで古傘を買い求めた太郎冠者は早速屋敷に持ち帰ると、果報者に見せるのだが……。縁起物の末広かりを題材とする、祝賀的な狂言の代表曲です。高揚する囃子物とともに晴れやかな結末へ向かう、和楽の世界をお楽しみ下さい。

● 月見座頭

つきみざとう

仲秋の名月の夜。座頭が河原で虫の音に聞き惚れていると、洛中から月見にきたという若い男が声をかける。歌の詠み合いで意気投合した二人は、謡い舞いつつさやかな酒宴を楽しむ。和やかなうちに別れの挨拶をかわし、座頭は気分良く帰途に着くが、突然……。月夜の酒宴を楽しむ和やかな雰囲気が一転、意外な結末を迎えます。人間心理の不条理をシンプルに描く佳作です。

● 越後髻 祝言之式

えちごむこしゅうげんのしき

「越後髻」は、能登の舅の元へ越後の髻が土産を携え髻入りにやってきて、舅と共に待っていた姉髻の勾当が、祝儀の盃をかわしながら舞を舞う。髻はそこで、越後の獅子舞を所望され、急ごしらえの扮装でめでたく舞い納めるというストーリーです。今回は祝言之式として、後半の髻のアクロバティックな獅子舞をおおくりします。

2023年9月22日 | 金 |

開演=14:00 / 18:30 ※開場は開演の30分前(予定)

穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール

● 料金(全席指定・税込)

S席: 5,000円 A席: 3,000円

U25(A席): 1,500円 高校生以下(A席): 1,000円

※未就学児のご入場はご遠慮いただきます。

※U25(25歳以下対象)・高校生以下は、一般発売日からプラットチケットセンターにて取扱い。

一人1枚・枚数限定・座席指定不可・入場時本人確認書類提示。

● 車椅子スペース(定員有り・要予約)

プラットチケットセンターにて取扱い。

本席チケットお持ちの車椅子ご利用のお客様は、事前に問合せ先までご連絡ください。

● 託児サービス

14:00公演のみ。定員制・要予約。生後6か月以上対象。お一人様500円。

9月7日[木]までにお問合せ先へ。

● 発売開始(10:00より受付開始)

会員先行: 2023年7月22日[土] (プラットフレンズ・豊橋文化振興財団維持会員)

一般発売: 2023年8月 5日[土]

※各発売日初日は、お一人様1申込につき1公演のみ4枚までの枚数制限あり。

● チケット取扱い

- プラットチケットセンター

窓口・電話 0532-39-3090 (10:00~19:00 休館日を除く)

オンライン <http://toyohashi-at.jp> (24時間受付・要事前登録)

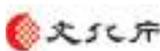
※発売初日はオンライン・電話のみ取扱い。翌日以降残席がある場合は窓口販売あり。

- チケットぴあ | <https://t.pia.jp> (Pコード: 519-358) セブン・イレブン店舗

● お問合せ

プラットチケットセンター | 0532-39-3090 (10:00~19:00 休館日を除く)

主催: 豊橋市 公益財団法人豊橋文化振興財団
令和5年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



■ 野村万作 (のむら・まんさく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)、文化功労者。祖父・故初世野村萬齋及び父・故六世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現の中に深い情感を湛える品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞したほか、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、朝日賞、旭日小綬章等、中日文化賞等多数の受賞歴を持つ。狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。近年では「檀山節考」の再演に取り組み、大きな成果をあげている。



■ 野村萬齋 (のむら・まんさい)

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・ドラマの主演、舞台『敦一山日記・名人伝一』『子午線の祀り』能狂言『鬼滅の刃』『ハムレット』等古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。狂言の認知度向上に貢献。現代に生きる狂言師としてあらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞等を受賞。



穂の国とよはし芸術劇場PLAT

愛知県豊橋市西小田原町123番地

TEL 0532-39-8810 (9:00~20:00)

FAX 0532-55-8192

休館日: 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌平日)

豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渚美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用下さい。豊橋まちなか・えきか駐車場・パーク500をご利用の場合、料金が30分150円から30分100円に割引(上限4時間)になります。

